| 学校番号 | 414 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　改訂版　歴史総合（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 歴史総合ノート（第一学習社） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書やワーク・資料集を見て予習をおこないましょう。
・歴史に関して様々な視点（各国の立場を理解するなど）を持てるようにすること、自分の言葉で授業の内容をまとめられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 序章 歴史の扉 | ①　歴史と私たち<br>②　歴史の特質と資料 | a: 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できている。<br>b: 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| | 第1章 近代化と私たち | 近代化への問い | a: 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身に付いている。<br>b: 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| | | 第１節　18 世紀のアジアの繁栄<br>第２節　産業革命と市民革命<br>第３節　イギリスの繁栄と国民国家の拡大<br>第４節　アジア諸国の変貌と日本の開国<br>第５節　帝国主義の発展 | a: 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解し、列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できている。<br>b: 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりできているなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりできている活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| 二学期 | 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 国際秩序の変化や大衆化への問い | a: 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身に付いている。<br>b: 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第１節　第一次世界大戦と大衆社会 | a: 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解できている。<br>b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| | | 第２節　経済危機と第二次世界大戦<br>第３節　第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 | a: 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解できている。<br>　第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できている。<br>b: 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| | | グローバル化への問い | a:冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身に付いている。<br>b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。<br>c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第3章　グローバル化と私たち | 第１節　冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭<br>第２節　国際秩序の変容と 21 世紀の世界 | a: 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解できている。<br>b: 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できている。<br>c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |
| 三学期 | | 現代的な諸課題の形成と展望 | a:持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解できている。<br>b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。<br>c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>レポートの内容<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>レポートの内容 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度